

不適合情報

2018年9月21日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(B)速度変換器の点検時、発電機回転速度(50%以上)の模擬信号を入力したところ、安全処置の不備により初期励磁渋滞の警報が発生し、残留熱除去海水系(B)(D)、非常用補機中間ループ系が自動起動したことを確認した。手動停止済み。当該事象の原因を調査。	G III 以下

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	中央制御室貫通部の点検時、シール処理不良箇所を確認した。当該部をシール処理。なお、中央制御室気密機能に影響がないことを評価済み。	
2	1号機	モニタ建屋配管レンチ排水ポンプに動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
3	2号機	低電導度廃液系脱塩塔(B)入口サンプル入口弁グランド部から微量の水漏れ(約0.8cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該部を点検・修理。	
4	3号機	西側ポンペ建屋水素・二酸化炭素ポンベ室の扉を開けられないことを確認した。当該扉を点検・修理。	
5	6号機	電解鉄イオン供給装置制御盤整流器コントロールスイッチに動作不良を確認した。当該スイッチを交換。	
6	その他	可搬型モニタリングポストの起動確認時、1台(No.15)が起動しないことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	